



経験者の声

わたしたちが **せとうち留学** を選んだ理由



小豆島中央高等学校

普通科/Mさん

香川県の高校を志望した理由

母方のおじちゃんが小豆島に住んでいて、夏休みに遊びに来るのが楽しみでした。小学校の4年生から少年野球を始めましたが、2016年に小豆島高校の野球部が甲子園に出場したのを応援に行き、その時の野球部の雰囲気や島の人たちの応援を見て、小豆島の高校で野球がしたいと思うようになりました。



「せとうち留学」を実現するまで

僕の場合、中学2年の時には小豆島の高校への進学を決めていました。あまりないケースなので担任の先生も驚いたようです。「せとうち留学」のことは、母が調べてくれました。3年の夏休みには、一人で小豆島中央高校の見学にも行きました。山も海も校舎もきれいで、ますます進学したくなりました。

小豆島中央高校での高校生活

小豆島で高校生活を送りたいと思いましたが、地元とは生活環境が大きく違い、さらに寮生活になるので、正直言うと不安でいっぱいでした。でも、先輩や先生が学校のことも生活のことも、親切に教えてくれたり、相談に乗ってくれたりするので、すぐに安心することができました。今では、快適な寮生活、学校生活を送っています。学校行事は体育祭を経験したのですが、とても楽しかったです。また、広々としたグラウンドで野球部の練習ものびのびできます。



将来の夢や希望

近い目標は、早く高校生活のリズムに慣れて野球と勉強を両立させることです。そして、学校の先生を目指したいです。高校進学の際に、担任の先生がしっかり向き合ってくれて相談に乗ってくれました。先生になれなくても、人の手助けができるような存在になりたいと思うようになりました。これは「せとうち留学」を希望したから見てきた僕の目標です。



坂出高等学校

音楽科/Wさん

香川県の高校を志望した理由

私の場合は小学校の時から坂出高校に憧れていました。フルートを始めたのが小学校5年の時、同じピアノ教室に通っていた先輩のフルート演奏を聴いて、私もやってみたいと思いました。その先輩が坂出高校に進学しました。フルートのレッスンを受けているうちに趣味ではなく、専門的に演奏したいと思うようになりました。地元には私が希望するような音楽科がある高校がありません。そこで、絶対に坂出高校しかない！と決意していました。そんな私に中学の先生が「せとうち留学」を教えてくださいました。



坂出高校での高校生活

中学時代の友人はみんな地元の高校に進学するので、私一人で香川の高校に行くのはとても不安でした。また、香川県の音楽レベルは高いので、ついていけるかどうか不安でした。でも、今はクラスも部活動も楽しく有意義な高校生活を送っています。



音楽科を専攻した感想

先生方はもちろんクラスメートからも、先輩からも、とても良い刺激を受けています。初めての実技テストは、コンクール以上に緊張しましたが、先生方からいろいろなアドバイスをもらうことができ、本当にためになりました。坂出高校には音楽ホールがあり、練習室にはピアノやエアコンなどがあり、音楽の学習環境も整っています。この学校でしかかなわないものがあると感じました。

将来の夢や希望

将来の夢はまだはっきり決まっていのですが、国公立大学を志望しているので勉強がんばらなくてはと思っています。プロへの憧れはありますが、小さい頃の夢が幼稚園の先生だったので、教職も素晴らしいなど先生方を見て思います。これからゆっくり考えていきます。



観音寺第一高等学校

普通科・理数科/Hさん

香川県の高校を志望した理由

中学校で配られたパンフレットを見て「せとうち留学」のことを知りました。地元で観音寺第一高校と同じような高校へは、列車で1時間くらいかかってしまいます。ここなら短時間で通学できます。将来は理系の分野へ進みたいと思っていたので、SSH(スーパーサイエンスハイスクール)への進学を希望していました。「せとうち留学」で出会った観音寺第一高校は私にとって理想的な高校でした。

SSHを志望した理由

SSHはネットで知り、とても興味を持ちました。母の知人は、研究職についている人が多く、医師もいます。そんな人たちの話を聞いているうちに、私もそうした分野を目指したいと思うようになりました。

観音寺第一高校での高校生活

みんな勉強しようという意欲を強く持っている人たちが集まっていますので、とても勉強しやすい環境です。また、通学時間が短縮できたので、帰宅後、毎日3~4時間は勉強することができます。新しい友人もすぐにでき、県外から来た寂しさはありません。



将来の夢や希望

2年生で理数科を選択し、理系の大学に進学するのが希望ですが、具体的には進路が決まっていません。以前は獣医師を目指していたと考えていましたが、動物アレルギーがあることが分かりました。人間の医者となると分野もさまざまでいろいろな意味でハードルが高そう。そうすると研究の分野に進むのが良いのではと考えています。先日、校内で先輩たちの研究発表がありましたが、さまざまな分野のテーマがあり、どれも面白く、興味深いものばかり。まだまだ進路に悩みそうです。



観音寺総合高等学校

総合学科/Aさん

香川県の高校を志望した理由

中学の校長先生から「これから先は夢や希望に向かって自分の力で進んでいくことになる。やりたいことがあるなら、専門分野に行くこともできる」と教えられ、調理の道に進みたいと思いました。そうすると、地元の高校では調理を専攻することができないので、食物系で調理師免許が取得できる観音寺総合高校に進みたいと考えました。

調理系を選んだ理由

親が調理系の仕事をしていて、小学1年生のころから調理の世界に憧れていました。でも、6年の頃には工業系もいいかなと思い始めました。高校で調理を学べるとは思ってなかったのですが、工業高校への進学を考えたところ、進路説明会で調理を学べる高校があることを知り、本来の夢をかなえる道に進もうと決心しました。県外への選択肢がなければ、まっすぐ夢に向かって進むことができなかったかもしれません。



観音寺総合高校での高校生活

無事合格したと通知をもらいとてもうれしかったのですが、考えてみると誰も知り合いがいないところからのスタートで、自分は溶け込めるのだろうか不安になりました。でも、一緒に勉強や部活を始めると、すぐに友達ができ、家に遊びに行くほどになりました。本来の目的である調理の実習も楽しく取り組むことができ、ここに入學して本当に良かったと感じています。

将来の夢や希望

小さい頃から母親の料理作りを手伝い、いろいろなものを作ってきました。それに、観音寺総合高校なら調理実習もしっかり体験することができ、調理師免許も取得できるので、いつか郷土料理の店を開きたいと思っています。地元の食材を使い、四国の郷土料理「さつま」や「鯛飯」を提供する店です。

